

深い作品理解と、華麗で洗練されたアンサンブルが持ち味の弦楽四重奏団

## DANEL QUARTET ダネル弦楽四重奏団

Marc DANEL *First violin*, Gilles MILLET *Second violin*, Vlad Bogdanas *Viola*, Guy DANEL *Cello*



1991年6月、ベルギー・ブリュッセルで結成。  
メンバーは、アマデウス弦楽四重奏団をはじめとして、ボロディン弦楽四重奏団、ベートーヴェン弦楽四重奏団といった、偉大な弦楽四重奏団のメンバーのもとで音楽を学ぶ。

結成後数年で国際的に活躍の幅を広げ、その演奏活動はBBC ラジオ(イギリス)、ラジオ・フランス、RTBF (ベルギー)、VRT (ベルギー)、ラジオスイスロマンド、北ドイツ放送、ケルン放送(ドイツ)等で放送されている。また、フランスのアゴラ音楽祭、イギリスのオールドバラ音楽祭、ベルギーの現代音楽祭、アルス・ムジカをはじめ、ドイツ、イタリア、ポルトガルなどヨーロッパ各地の音楽祭に招かれ、演奏している。

フランス、ラジオ・フランス・モンペリエの音楽祭では、ショスタコーヴィチの弦楽四重奏曲全曲演奏をラジオ・フランスによりライブ放送されている。また、パリのアゴラ音楽祭ではフランスの気鋭現代作曲家であり、クセナキスの弟子としても知られるパスカル・デュサパンに招かれ、デュサパン弦楽四重奏団、アルデッティ弦楽四重奏団とも共演した。

93年サンクトペテルブルクのショスタコーヴィチ国際弦楽四重奏コンクール第1位。ショスタコーヴィチの弦楽四重奏作品の解釈が高く評価された。94年ロンドン国際弦楽四重奏コンクールで3位。95年エヴィアン国際弦楽四重奏コンクールで2位、及び国際プレスの審査員特別賞を受賞。

ダネル弦楽四重奏団は94年より、この偉大なる20世紀の作曲家、ショスタコーヴィチの横顔を広く聴衆に紹介するため、その弦楽四重奏曲(15曲)全曲をしばしばプログラムに取り上げ、演奏を行っている。

また、彼らの交流は、ショスタコーヴィチ夫人をはじめ、ショスタコーヴィチ研究の大家との交流やボロディン弦楽四重奏団との「弦楽八重奏 op.11」の共演など幅広く、この経験は彼らのショスタコーヴィチ作品演奏における一層の充実感を与えている。

コンサートは、ウィグモアホール(イギリス)、ラジオ・フランスパリ、シャトレ座(フランス)、ボザールブリュッセル、ハノーヴァーのベートーヴェンホール、アムステルダムコンサートヘボウ等、ヨーロッパ各地に及ぶ。

2005年9月に初来日を果たし、札幌(札幌コンサートホール Kitara)、釧路(釧路市市民会館)、新潟(新潟市音楽文化会館ホール)、東京(サントリーホール)で演奏し、いずれも好評を博した。

レパートリーはハイドンから現代まで幅広く、クセナキスの最後の弦楽四重奏曲のフランス初演も行うなど、フランスの伝統的な音楽の演奏にも力を注いでいる。

CDは、現代音楽、そして最近フランスの名指揮者であり作曲家のロザンタールの室内楽を録音し、フランスでも権威のあるACCディスク大賞を受賞。他に、グノーの作品(Auvidis-Valoisレーベル)、メンデルスゾーンの弦楽四重奏曲(Eufoda)、フランスの現代作曲家デュサパンと、ルネ・コーリンの弦楽四重奏曲(ユニバーサル)等を録音している。最新作として、2005年にFUGA LIBERAレーベルよりショスタコーヴィチの弦楽四重奏曲全曲を録音したCDをリリースした。